

主催：早稲田大学総合研究機構

共催：早稲田大学東アジア都城・シルクロード考古学研究所／文化財総合調査研究所／
先史考古学研究所／比較考古学研究所／エジプト学研究所／早稲田大学総合人文科学
研究センター／早稲田大学高等研究所／早稲田大学文学部考古学コース

【シンポジウム開催報告】

「3D考古学の再挑戦 遺跡・遺構の非破壊調査研究」

日時：2017年10月21日（土）9:30-17:00（開場9:00）／10月22日（日）9:00-17:00（開場8:30）

21日会場：戸山キャンパス 36号館 382教室

22日会場：早稲田大学大隈記念講堂小講堂

事前登録不要・入場無料

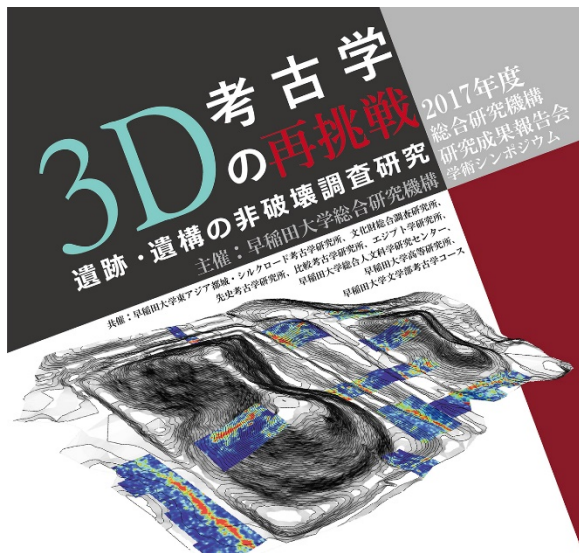
早稲田大学総合研究機構第13回研究成果報告会・学術シンポジウムとして行われた本シンポジウムでは、昨年度実施された「3D考古学の挑戦 考古遺物・遺構の三次元計測における研究の現状と課題」に続き、遺跡・遺構の非破壊調査研究をテーマとして取り上げた。

本年度のシンポジウムの目的は、デジタル三次元測量や航空測量による遺構の情報化、および様々な物理探査の手法を組み合わせた考古学の非破壊調査研究、その現状と課題を国内外の事例研究から整理することである。また、昨年度同様単なる技術論にとどまらず、如何に三次元情報を考古学研究に落とし込んでいくか、新たな技術や科学的な計測結果が既存の方法論にどのような点で刺激を与え融合できるのかを総合討議で議論した。考古学者だけでなく理工学系の専門家とも直接意見を交わすことで互いの研究内容や経験を共有することができ、学際的研究のより一層の発展に寄与するものとなった。

【参加人数】1日目：120名、2日目：50名

【主な客層】一般、学生、研究者、大学・研究機関、埋蔵文化財行政、三次元計測関係の民間企業など

尚、本シンポジウムの詳細な会議録は早稲田大学総合研究機構発行誌『プロジェクト研究』第13号と早稲田大学総合人文科学研究センター研究誌 RILAS-JOURNAL 第6号に掲載予定である。



2017年10月21日（土）／22日（日）

早稲田大学戸山キャンパス 36号館 382教室 / 大隈講堂小講堂

10月21日 9:30-17:00

10月22日 9:00-17:00

※ 各日会場と時間が異なりますのでご注意ください。

※ 開会時間 30分前までに入場いただけます。

予約不要・入場無料

三次元シンポジウム事務局 3dsympo.waseda@gmail.com 03-5286-3646 (考古学研究室助手：竹野内)

遺跡・遺構の非破壊調査研究とその可能性

2017年度は、三次元シンポジウム第2弾として「遺跡・遺構の非破壊調査」をテーマとする。デジタル三次元測量や航空測量による遺構の情報化、および様々な物理探査の手法を組み合わせた考古学の非破壊調査研究、その現状と課題を国内外の事例研究から整理する学術シンポジウムである。

10月21日（土）（9:30-17:00）

亀井宏行（東京工業大学）

「遺跡探査の重要性」

高橋龍三郎・西野雅人・菅谷通保・松田光太郎（早稲田大学・千葉市埋蔵文化財調査センター）

「地中レーダー探査（GPR）は現場の実態をどこまで明らかにできるか」

阿見雄之・沖原高志（東京工業大学）

「探査でわかる古墳の構造」

城倉正祥（早稲田大学）

「古墳のデジタル三次元測量・GPR調査の方法とその可能性」

青木弘・横山真・千葉史（埼玉県埋蔵文化財調査事業団・株式会社リンク）

「横穴式石室研究の課題と三次元計測の可能性」

伝田郁夫（早稲田大学）

「横穴墓におけるGPR調査と三次元計測」

東 直幸（宮崎県立西部歴史博物館）

「GPRを利用した大規模遺跡における地下マップ制作の実践 特別史跡西都原古墳群（宮崎県西都市）」

10月22日（日）（9:00-17:00）

寺崎秀一郎・中村誠一（早稲田大学・金沢大学）

「ホジュラス世界遺産 コパンのマヤ遺跡におけるデジタル三次元測量とGPR調査の成果と課題」

馬場匡造・近藤三郎（早稲田大学）

「エジプトにおける遺跡探査」

早川裕之（東京大学）

「UASを用いた遺跡周辺環境計測」

大石昌史（東京大学）

「レーザ計測による大規模遺構の3次元デジタル化と解析」

下田一太・田畑幸嗣（文化庁・早稲田大学）

「密林に覆われたアンコール遺跡群の実像解明」

総合討議（城倉正祥・田畑幸嗣）

【プログラム】

●10月21日（土）9:30-17:00

亀井宏行（東京工業大学）

「遺跡探査の重要性」

高橋龍三郎・西野雅人・菅谷通保・松田光太郎（早稲田大学・千葉市埋蔵文化財調査センター）

「地中レーダー探査（GPR）は貝塚の実態をどこまで明らかにできるか」

阿児雄之・沖原高志（東京工業大学）

「探査でわかる古墳の構造」

城倉正祥（早稲田大学）

「古墳のデジタル三次元測量・GPR 調査の方法とその可能性」

青木弘・横山真・千葉史（埼玉県埋蔵文化財調査事業団・株式会社ラング）

「横穴式石室研究の課題と三次元計測の可能性」

伝田郁夫（早稲田大学）

「横穴墓における GPR 調査と三次元計測」

東 憲章（宮崎県立西都原考古博物館）

「GPR を利用した大規模遺跡における地下マップ制作の実践 特別史跡西都原古墳群（宮崎県西都市）」

●10月22日（日）9:00-17:00

寺崎秀一郎・中村誠一（早稲田大学・金沢大学）

「ホンジュラス世界遺産 コパンのマヤ遺跡におけるデジタル三次元測量と GPR 調査の成果と課題」

馬場匡浩・近藤二郎（早稲田大学）

「エジプトにおける遺跡探査」

早川裕弼（東京大学）

「UAS を用いた遺跡周辺環境計測」

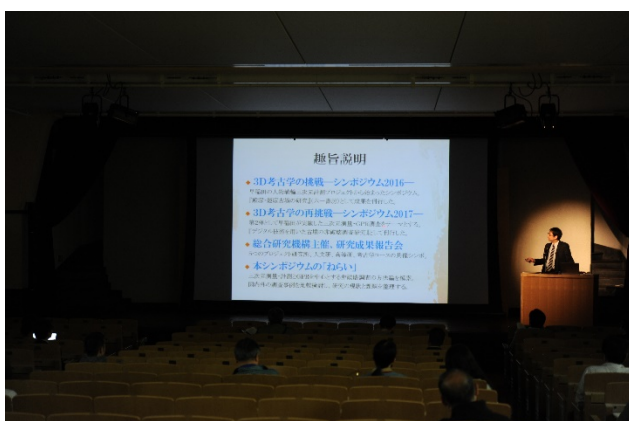
大石岳史（東京大学）

「レーザ計測による大規模構造物の 3 次元デジタル化と解析」

下田一太・田畑幸嗣（文化庁・早稲田大学）

「密林に覆われたアンコール遺跡群の実像解明」

総合討議（城倉正祥・田畑幸嗣）



（文責：総合人文科学研究センター 山田綾乃）